

「いのち」と向き合った一年

平成28年、下野新聞に投稿・掲載された
宇都宮メデイカルカフェでの記事など

一昨年末、多発性骨髄腫と診断され、がんセンターに入退院しました。昨年は通院しながら、抗がん剤治療に専念しました。骨の痛みや薬の副作用に一喜一憂主治医や、周囲の人たちに励まされ、私も病と真剣に向き合い、月1のまちなかメデイカルカフェで適切な指導を受けながら、下野新聞「読者登壇」に投稿活動しました。平成28年は11回掲載されました。カフェのみんなの皆さんの参考にと、6編を転載しました。(29・1・5)

がん患者と対話 命の大切さ学ぶ

宇都宮市 武田 幸雄
(無職 77歳)

◇読者登壇欄で活躍するNさんが昨年、がんを奥さまを亡くされ、つらく悲しい思いの中で、読者諸氏に「他山の石」を送ってくれました。

◇私は一昨年、肺がんを発症。1年を経た昨年暮れ、骨髄に転移、3週間余り入院し、第1期抗がん治療を終えたところ。この先通院治療でがんを共存する「寛解」を得て余生を送りたいと思えます。この1年は家族、友人に励まされ、さらに同じ病に苦

2016・01・23



大田原市 鈴木 啓子

しむがん患者が集う「まちなかメデイカルカフェ」で、命の大切さを学びました。お茶を飲みながら医師や看護師、がん経験者が、心に悩みを持つがん患者や家族の闘病への疑問に耳を傾け、対話する中

2016・06・26

クリンソウ堪能 最高の父の日に

宇都宮市 武田 幸雄
(無職 77歳)

◇父の日のプレゼント。娘たちの提案で、奥日光・中禅寺湖の千手ヶ浜に家族4人でクリンソウを見に行ってきた。私の体調はいまいちでしたが、日光道、いろは坂を

◇原生林に囲まれた緑の中に、奥日光の山々から湖に流れる幾筋もの川の水の清らかさ、水際に映え群生するクリンソウの美しさを心ゆくまで堪能できました。元気な3人はバス停の方まで足を延ばしたが、私は浜辺でシートにごろ寝。社山や半月山の稜線を越えて次々に現れる雲を眺めながら、至福の1時間を過ごしました。

◇秘境の動物たちの生態にも思いをほせ、自然と人間の豊かなハーモニーを楽しみました。最高の父の日を体験できました。

温かい心感じた まちなかの集い

宇都宮市 武田 幸雄
(無職 77歳)

◇「まちなかメデイカルカフェ」の記念講演会に行ってきた。メデイカルカフェの提唱者、順天堂医学部の樋野興夫教授や講演者の話を聞き、大切な命を抱き締めた。

◇がん患者は発病時、目の前が真っ白になる絶望・不安を経験する。本人や家族、医師や看護師、がん経験者がまちなかに集い悩みを語り合っており、心身のバランスを取り戻す。道を求め病と向き合う姿に人としての尊さも実感する。多発性骨髄腫で入院、現在、通院で抗がん治療中の私

◇西洋、東洋医学が高い哲学に支えられ、生老病死の現場に寄り添えたら最高です。体のみほぐしを指導したスタッフには温かい心と、先駆者の皆さまには感謝しながら疲れも飛んで帰ってきました。

2016・04・28



矢板市 神長 久子

